

Minami Kyushu University Syllabus

| シラバス年度 | | 2023年度 | 開講キャンパス | 宮崎キャンパス | 開設学科 | 管理栄養学科 | | | |
|-----------------|--|--------|---------|---------|------|--------|----|----------------|--|
| 科目名称 | 学校教育における道徳指導法 | | | | | 授業形態 | 講義 | | |
| 科目コード | 421131 | 単位数 | 1単位 | 配当学年 | 3 | 実務経験教員 | | アクティブ ラーニング | |
| 担当教員名 | 田原 健二 | | | | | | | ICT活 用 | |
| 授業概要 | <p>道徳教育の意義や方法論について講義する。講義を通して、道徳教育の現状について理解を深め、道徳教育の在り方を考察する。また、道徳教育をテーマにした学生自身による模擬授業も行う。模擬授業を通して教材研究や授業方法を工夫することに主眼をおく。どうすればよりよい道徳教育が出来るか、学生自身が考え工夫する、実践的な場として模擬授業を捉え、積極的に取り組む意欲を養う。公立学校教員として、また教育行政において道徳教育を統括した実務経験を有する教員が授業を担当する。</p> | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 教育の方法および技術 | | | | | | | | |
| 授業の方法と進め方 | <p>① 講義の中に質疑応答やディスカッションの時間を組み、学生との交流を基にして授業を進め、教師側の一方的な講義に陥る弊害を避ける。② 学生自身による模擬授業を採り入れ、授業の作り方を徐々に体得できるように実践の中で育てていく。</p> | | | | | | | | |
| 授業計画【第1回】 | <p>1. 道徳教育とは (1) 現代社会の状況 (2) 現代社会における子供の道徳的状況 (3) 求められる道徳教育にどう対処するか (4) 道徳教育の教科化</p> | | | | | | | | |
| 授業計画【第2回】 | <p>2. 道徳性の発達 (1) 幼児期 (2) 児童期 (3) 青年期</p> | | | | | | | | |
| 授業計画【第3回】 | <p>3. 道徳教育の意義 (1) 学校における道徳教育 (2) 法と道徳 (3) 道徳教育の目的 (4) 道徳教育の内容</p> | | | | | | | | |
| 授業計画【第4回】 | <p>4. 日本における道徳教育の歴史 (1) 明治～戦前の道徳教育 (2) 戦後の道徳教育</p> | | | | | | | | |
| 授業計画【第5回】 | <p>5. 各国の道徳教育 (1) アメリカの道徳教育 (2) フランスの道徳教育 (3) 中国（中華人民共和国）の道徳教育 (4) 韓国（大韓民国）の道徳教育</p> | | | | | | | | |
| 授業計画【第6回】 | <p>6. 道徳科授業の実践事例 (1) 小学校低学年の実践事例 (2) 小学校中学年の実践事例 (3) 小学校高学年の実践事例 (4) 中学校の実践事例</p> | | | | | | | | |
| 授業計画【第7回】 | <p>7. 道徳科学習指導案の作成 ・「食に関する指導」に関連する内容項目を選択し学習指導案を作成する</p> | | | | | | | | |
| 授業計画【第8回】 | <p>8. 模擬授業 ・作成した学習指導案をもとに模擬授業を行う</p> | | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | <p>1. 道徳教育の意義を理解し、日本の道徳教育の歴史を学ぶ 2. 主要各国の道徳教育の状況を理解する 3. 教材研究をして模擬授業を組み立てる 4. 組み立てた模擬授業を発表する</p> | | | | | | | | |
| 学位授与の方針(DP)との関連 | <p>1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)</p> | | | | | | | | |

| | |
|-------------------|--|
| 授業時間外の学習 【予習】 | 授業の際に次回の内容を提示するので関連情報を収集しまとめる（1時間程度） |
| 授業時間外の学習 【復習】 | 授業終了後に示す課題についてレポートを作成する（1時間程度） |
| 課題に対する フィードバック | ① 模擬授業には評価の時間を組み、良かった点や改善点などをクラス全員で確認しながら進めていく。分かり易い授業とはどんな授業か、学生自身が実践の場で経験しながら体得していけるように導く。② テスト終了後はフィードバックの時間を設け、模範的解答を示す。学生の疑問質問があれば応答し、模範的解答に至った根拠について学生が納得出来るよう丁寧に説明する。 |
| 評価方法・基準 | レポートと敵試験の成績で評価する ・定期試験60点 ・課題提出40点 |
| テキスト | 「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳」（平成29年告示） |
| 参考書 | 「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年告示） |
| 備考 | |